

神奈川県

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：個別給付の地域移行・地域定着支援促進に向けたピアサポーターの活用、多機関連携

【達成状況】

- 新たな成果目標となる「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について関係機関と理解を深めながら、県域5か所の相談支援事業所に委託をしているピアサポーターを活用した病院訪問、個別支援を継続（精神障害者地域移行・地域定着支援事業）。
- 1圏域において新規にピアサポーターを養成。
（新規2名登録、県域全体における登録者数H30年1月末時点登録者数56名）
- 病院訪問の体験発表、グループワークが、より効果的な退院促進、普及啓発の機会となるよう、医療機関職員、相談支援事業所、ピアサポーターが意見交換を図り、入院患者を対象に事前アンケートを活用するなどの工夫を図った。（1圏域）。
- 委託事業所業務連絡会3回開催。ピアサポーターへの心理的支援の在り方や自立支援協議会、医療機関との連携の図り方を協議。

目標：精神保健福祉センター主催のプロジェクトの会議体を活用したモデル圏域において、保健・医療・福祉の関係者による協議の在り方、地域移行の個別給付サービスにつなげる仕組みづくりを検討

【達成状況】

- 医療機関、相談支援事業所、ピアサポーター、市町村、保健福祉事務所の関係者等により4回開催。
（平成30年1月末時点。2月に第5回を開催予定）
- 長期入院者のリスト化及び検討、個別給付に向けた個別面接の実施。
- 第3回において構築支援事業を活用した広域アドバイザーによる「実効性ある地域移行、地域定着支援の推進」個別給付のプロセスとポイント」等を学ぶことを目的とした研修会を実施。48名参加。
- また、構築支援事業を活用した現地支援を1回開催。主にモデル圏域の医療機関職員を中心に県内の地域移行支援関係者を対象とした広域アドバイザーによる研修会を実施。68名参加。
- こうした研修の一部であるグループワークにおいて、保健・医療・福祉関係者が、地域移行、地域定着支援に向けた各機関の強みや課題について、アドバイザーから助言を得ながら意見交換を図った。

目標：継続的かつ重層的な人材育成のための研修（体制の構築）

【達成状況】

- 上記研修の他、県域の地域移行支援関係者向けに地域移行・地域定着支援事業における研修1回開催

平成30年度の実行方針

1. 関係者の協議の場については、保健所が有するネットワークや機能、既存の会議等を活用する。
2. 保健・医療・福祉関係者による協議の場を通して、所管域における長期入院者数の把握や具体的な個別支援の共有、事例検討を通し、多機関の連携強化、地域体制づくりを図る。